



安心レーシックネットワーク

- 大阪府吹田市 / 大阪大学医学部附属病院
- 大阪府泉南郡 / 高槻眼科
- 大阪府大阪市 / 多根記念眼科病院
- 大阪府大阪市 / 坪井眼科
- 大阪府大阪市 / フジモト眼科
- 京都府京都市 / 京都府立医科大学附属病院
- 京都府京都市 / パテテスト眼科山崎クリニック
- 三重県津市 / 東海眼科
- 和歌山県和歌山市 / 和歌山県立医科大学病院
- 兵庫県神戸市 / レイ眼科クリニック
- 北海道旭川市 / 旭川医科大学附属病院
- 北海道函館市 / 江口眼科病院

- 広島県呉市 / 木村眼科内科病院
- 広島県広島市 / すぎもと眼科
- 広島県福山市 / みはら眼科
- 岡山県岡山市 / 高富西眼科
- 岡山県岡山市 / 中平眼科クリニック
- 山口県周南市 / 広田眼科

- 香川県坂出市 / 聖母眼科医院
- 愛媛県東温市 / 愛媛大学医学部附属病院
- 愛媛県松山市 / 岡本眼科クリニック

- 福岡県飯塚市 / 岡眼科クリニック
- 福岡県福岡市 / 岡眼科天神クリニック
- 佐賀県伊万里市 / 伊万里眼科
- 宮崎県都城市 / 宮田眼科病院
- 鹿児島県鹿児島市 / 鹿児島 宮田眼科
- 沖縄県那覇市 / 安里眼科おもろまち駅前
- 栃木県下都賀郡 / 獨協医科大学病院
- 東京都新宿区 / 慶應義塾大学病院
- 東京都千代田区 / 東京歯科大学水道橋病院
- 東京都千代田区 / お茶の水・井上眼科クリニック
- 東京都港区 / 南青山アイクリニック
- 東京都台東区 / 吉野眼科クリニック
- 東京都中央区 / 聖路加国際病院
- 神奈川県足柄上郡 / 安藤眼科医院
- 神奈川県川崎市 / 大塚眼科クリニック
- 神奈川県横浜市 / みなとみらいアイクリニック

大学病院10施設
眼科クリニック38施設
計48施設
(2015年7月1日現在)

- 秋田県北秋田市 / 小林眼科医院
- 岩手県盛岡市 / 岩手医科大学附属病院
- 岩手県盛岡市 / 小笠原眼科クリニック
- 宮城県仙台市 / 佐藤裕也眼科医院
- 新潟県上越市 / 石田眼科医院
- 石川県野々市市 / 若林眼科
- 富山県高岡市 / 小沢眼科医院
- 静岡県浜松市 / 海谷眼科
- 愛知県名古屋市中区 / 眼科杉田病院
- 愛知県名古屋市中区 / 眼科三宅病院
- 愛知県名古屋市中区 / 名古屋アイクリニック

- 協賛施設・企業
- 安里眼科 おもろまち駅前
 - 安藤眼科医院
 - 大塚眼科クリニック
 - 岡眼科クリニック
 - 小笠原眼科クリニック
 - お茶の水・井上眼科クリニック
 - 聖母眼科医院
 - 坪井眼科
 - 東海眼科
 - 中平眼科クリニック
 - 名古屋アイクリニック
 - フジモト眼科
 - みなとみらいアイクリニック
 - 南青山アイクリニック
 - みはら眼科
 - 吉野眼科クリニック



南青山アイクリニック 副院長
福本 光樹氏

「ナイトレンズは、オルソケラトロジーとも言われますが、就寝時に

装着して角膜を矯正し、翌日の裸眼生活を可能にします。装着を中止すれば元に戻ります。近年、近視の進行を抑える効果が報告され、日本でも臨床試験中です。日本人の目に合わせたレンズも開発されています」

最先端の治療は正しい情報を得る！それが何より重要

第3部「そこが知りたい！疑問解決!!」では、クイーンズアイクリニック院長の荒井宏幸氏が「白内障の先進医療」を紹介。「白内障は水晶体が濁る病気



クイーンズアイクリニック 院長
荒井 宏幸氏

で、手術で視力回復できます。このとき、単焦点眼内レンズを用いた手術は保険適用、遠近両用となる多焦点眼内レンズは保険適用外ですが、先進医療が適用される場合もあります。医師とよく相談しましょう」

招待講演では、国民生活センター理事の宗林さおり氏が登壇。「先端医療にまつわる不安は、①自身の適応を知る、②治療の知識を持つ、③リスクの説明を十分に受ける、の3点でほぼ解消します。まずはレーシックに関する正しい情報を得て、QOLの向上に役立ててください」



国民生活センター理事
宗林 さおり氏

講演終了後には、参加者からの質問に各専門医が答えた。手術の適応や受診方法など具体的な質問も多く、治療への関心の高さがうかがえた。快適な視力実現に向け、本講座が貴重な機会を呈したことは間違いない。

Seminar Review

快適な視力のために

大学病院と眼科専門医のレーシック

安心LASIK NETWORK

主催 安心レーシックネットワーク
共催 日経ヘルス 日経ウーマンオンライン 慶應義塾大学医学部眼科
後援 日本角膜学会 一般財団法人白内障研究所

「目の疲れや不調、不便から解放されたい」「レーシックについて知りたい」—そんな声に応える市民公開講座が7月12日、慶應義塾大学三田キャンパス北館ホールにて開催された。慶應大学・坪田一男教授をはじめ専門の眼科医が、レーシックの安全性から眼鏡選びのコツ、アイケアの知識までをレクチャー。その様子を紹介する。



日本角膜学会理事長
東京歯科大学眼科教授
島崎 潤氏

「QOL実現のためには、目の健康はもとより、快適に「見えること」が重要です。より快適な生活のための目の知識を深めていただければ幸いです」

快適な眼鏡選び、目の不調は眼科で相談しよう！



お茶の水・井上眼科クリニック 屈折矯正外来 レーシックセンター長
玉置 正一氏

「目が疲れる、充血する、ゴロゴロする、かすむ、見にくい……、こんな症状は眼科で検査を受けましょう。ドライアイかもしれない。日本には、涙のムチンや水分を増やす新しいドライアイ治療の目薬もあり、治療と正しいケアで改善できる時代です」



小笠原眼科クリニック 院長
小笠原 孝祐氏

裸眼生活を実現する「レーシック」と「ナイトレンズ」

第2部は、「裸眼生活を応援！最新の眼科治療」と題して、レー



慶應義塾大学医学部 眼科学教室 教授
坪田 一男氏

シクやナイトレンズなど注目の最新治療が紹介された。

慶應義塾大学医学部眼科学教室の坪田一男氏による「レーシックの安全性と効果」ではレーシックのしくみと世界での評価をわかりやすく解説したうえで、その安全性は、①適応をしっかり診断し守る、②日本眼科学会のガイドラインを順守、③角膜治療に精通した眼科専門医が行うこと、で担保されるとし、「レーシックは選択的手術として全世界でもっとも多く行われている治療で、満足度も高い。眼鏡やコンタクトレンズをはずしたいと希望されている方には有効な治療の選択肢です。安心レーシックネットワークのホームページの「10のチェックリスト」をぜひご活用ください」と語った。

一方、手術せずに裸眼生活を実現するナイトレンズについては、南青山アイクリニック副院長の福本光樹氏が解説。